



梅田中だより

<第17号>

1月

新年、明けましておめでとうございます。
今年もよろしく願っています。



2021年がスタートしました。あけましておめでとうございます。今年も、職員一丸となって子供たちの健やかな成長に貢献できるよう、全力で励みたいと思います。よろしく願っています。

年が明けてすぐ、3年生は高校入試がスタートしました。受験に向かって、不安な気持ちに押しつぶされそうな気持ちを抱く中ですが、自分の進む道を真っすぐに目指して、冬休み中も着実に努力をする生徒の姿が見られました。その力を十分に発揮して、よい結果を導き出してほしいと願っています。

現在、全世界でコロナウィルスに感染した人の数は約8700万人、また、7日の発表では、東京で1日に感染した人の数は2000人を超え、状況はよい方向に進んでいないのが現状です。しかし、だからこそ、感染症対策を徹底して、学校の中からの感染者が出ないように、これからも努力していきます。

年末に桐生市から、コロナウィルス感染症の拡大防止に役立ててもらいたいと、銅製の繊維シートが配付されました。この繊維シートは、群馬大学大学院理工学府の板橋英之教授が考案したものです。板橋教授は自然にあるものを使い、環境中の有害物質を除去する研究を長年にわたって行ってきました。銅は昔から殺菌効力があり、これを使った製品が作れないかと研究を重ねてきたのだそうです。(新型コロナウィルスは、アメリカの国立衛生学研究所の研究から、プラスチックやステンレスの表面では48～72時間生存しますが、銅の表面では4時間と極端に生存時間が短いことが公表されています。)

板橋教授がこの銅製のシートを作るときに協力してくれたのが、「織物の街、桐生」である桐生市の織物工場で伝統の職人技をもつ職人さんだったそうです。地元の機織り工場で、80歳を超える工場長が1本1本、銅の糸のテンションを確かめながら織り上げてくれたとのことでした。

現在、梅田中学校では、いただいた銅製の繊維シートを、子供たちが一番多く使用する集中玄関の入口、そして、社会体育で一般の方々が使用する体育館の入口、さらに、職員室の入口に取り付けて、できる限り殺菌効果を高められ、安全に子供たちが学校生活を送ることができるように活用させていただいています。

【※この銅製の繊維シートのニュースは、1月6日(水)の上毛新聞(社会面)にも掲載されています。】



生徒玄関入口



職員室入口



体育館入口

元日の朝、初日に向かって、「今年こそはコロナウィルス感染症の影響を受けずに、これまでのように教育活動ができますように」と願いを込めました。早く、この状況が良い方向へ変化し、子供たちの笑顔があふれる学校に戻れることを、心より期待をしています。

3年生が実力を伸ばしています。 この力を発揮して、頑張れ、3年生！

年が明け、いよいよ3年生の子供たちは、自分自身の進路を決定する大切な試験を受ける時期がやってきました。この冬休み中に、静かに、しかし着実に実力を伸ばしている子供たちがいます。

なかなか臨時休校や分散登校などで、当初、予定していた学習を進めることができなかつた3年生の子供たちでした。

これまでも、少なくなった授業時間に集中して取り組み、学習効果を上げようと一生懸命、奮闘してきました。とても、素晴らしかったと思います。

今年の3年生の子供たちは、どの生徒も一言も愚痴を言わず、頑張ってきました。年が明けた後も、この取組は変わらず、午前中に自学自習をする3年生の子供たちが、多数見られました。本当に頭の下がる思いです。

この3年生の子供たちに、努力の成果が確実に実ることを、私たち職員は、心から祈っています。



自学自習に励む3年生の子供たち

既に1月5日（火）に白鷗大学足利高等学校の入試が実施されました。3年生の子供たちにとっては大きな試練の時だと思えます。しかし、生きていくと、人間には必ず大きな決断を、自分自身の力でしなければならないときが何度もやってきます。おそらく、多くの3年生の子供たちにとって、初めて出会う決断なのだと思います。この時のために、今まで小学校の時から学校で多くの知識を学び、家庭で保護者の皆さんから、どう生きていくべきかを適切に判断する力を培ってきたのだと思います。まだまだ、学びは必要ですが、一度、その決断する力をどう使うかが、ここで試されるのかもしれませんが、ぜひ、この挑戦をしっかりと成し遂げて、次の試練に立ち向かう力を身につけてほしいと思います。

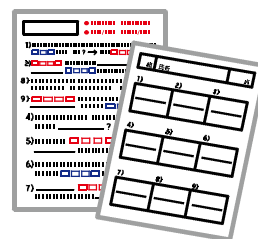
「頑張れ、3年生の子供たち！」と教職員全員が応援しています。

学校評価アンケートではお世話になりました。

2学期末に実施しました「第2回 教育活動に関するアンケート」では、保護者の皆様には師走のお忙しい中にもかかわらずご協力いただき、たいへんお世話になりました。アンケート結果の集計が終了しましたので、別紙にてお知らせいたします。

質問項目で「A：あてはまる」「B：まあまああてはまる」を合わせて80%以上となるものを一つの評価ラインと考えました。また、第1回のアンケートとの比較においては、5%以上の増減があったものに二重丸（◎）をつけてみました。

このアンケート結果を基に、今後の学校の指導体制を再検討させていただきたいと思えます。貴重なご意見を多数いただき、本当にありがとうございます。



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。